

「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

鹿児島県地域セミナー 報告書

2020（令和2）年8月24日（月）に、スポーツ庁「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」鹿児島県地域セミナーが、下記の要領で開催されました。

【開催概要】

日時：2020（令和2）年8月24日（月）9時30分～12時00分

会場：ウェルビュー鹿児島

主催：鹿児島県教育委員会、早稲田大学オリンピック・パラリンピック教育研究センター

参加者：34名（推進校担当者29名、教育事務所5名）

プログラム：

9:30～9:40 開会挨拶

鹿児島県教育庁 保健体育課

課長 中山 恭平 氏

9:40～10:00 昨年度の実践報告

霧島市立国分中学校 担当者

10:00～10:50 オリンピック・パラリンピック教育について

早稲田大学オリンピック・パラリンピック教育研究センター

副センター長 深見 英一郎 氏

研究員 岡田 悠佑 氏

10:50～11:00 休憩・移動

11:00～11:50 グループワーク「自校のオリ・パラ教育の推進方法について」

推進校担当者

教育事務所 指導主事

11:50～12:00 質疑応答・諸連絡

鹿児島県教育庁 保健体育課

指導主事 寺原 和照 氏

開会行事では、鹿児島県教育委員会事務局の中山氏より挨拶がありました。中山氏からは、推進校への感謝の言葉とともに、昨年度の推進校の取り組みや児童・生徒の感想文等を紹介しながら、オリ・パラ教育が持つ可能性について述べられました。また、オリ・パラ教育を通したアスリートとの一期一会を大切にして、児童・生徒のためにオリ・パラ教育に積極的に取り組んでほしい、と本事業への期待を述べられました。

次に、昨年度から推進校の担当者による実践報告が行われました。学校の教育目標と関連付けて、どのようにオリ・パラ教育に取り組んだらよいのか、という点について具体的な実践例とお話されました。



中山氏



推進校の担当者

続いて、本センターの深見副センター長による挨拶の後、岡田研究員より、オリ・パラ教育とは何か、なぜオリ・パラ教育に取り組むことが求められるのか、というオリ・パラ教育に取り組む前提となる基本的なことから、実際に推進校でオリ・パラ教育をどのように推進していくことができるのか、という具体的な実践方法等について講義が行われました。また、リオデジャネイロ大会の開会式の映像やパラリンピック教育用教材として活用可能な「WHO I AM」の視聴も行われました。

さらに、10分の休憩後、推進校の担当者にグループに分かれていただき、各推進校の実践計画の検討を行いました。各グループでは、各推進校の目標を元にオリ・パラ教育の目標を選択し、そのうえで各推進校の実態に即してどのような取り組みが可能か、という点について意見交換が行われました。教育事務所の方々にも適宜グループワークに参加してご助言をいただいたり、各グループの代表者による検討内容の発表等も行われました。最後に、鹿児島県教育委員会事務局の寺原氏より今後の事業推進に係る事務手続きについて等の説明があり、散会となりました。



グループワーク①



グループワーク②